

見本

2022 年度入学

総合研究大学院大学  
文化科学研究科

学生募集要項  
(博士後期課程)

国立大学法人 総合研究大学院大学

〒240-0193

神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

電話 046-858-1525・1526

E-mail: [gakusei@ml.soken.ac.jp](mailto:gakusei@ml.soken.ac.jp)



## 目 次

I. アドミッション・ポリシー	p.1
II. 文化科学研究科の概要	p.5
III. 出願手続き及び注意事項	p.6
「地域文化学専攻」及び「比較文化学専攻」を受験される皆さんへ	p.15
「国際日本研究専攻」を受験される皆さんへ	p.17
「日本歴史研究専攻」を受験される皆さんへ	p.19
「日本文学研究専攻」を受験される皆さんへ	p.21
各専攻の担当教員等	p.23

【問合せ先】※問い合わせは志願者本人が行うこと

総合研究大学院大学 学務課学生係

住 所: 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

電 話: 046-858-1525・1526

E-mail: [gakusei@ml.soken.ac.jp](mailto:gakusei@ml.soken.ac.jp)

時 間: 平日 9:00~12:00 及び 13:00~17:00



## 総合研究大学院大学のアドミッション・ポリシー

### 【大学の理念と教育の目的】

総合研究大学院大学は、大学共同利用機関法人及び国立研究開発法人が設置する大学共同利用の研究所その他の機関との緊密な関係及び協力の下に、世界最高水準の国際的な大学院大学として学術の理論及び応用を教育研究して、文化の創造と発展に貢献することを理念としています。

この理念に基づいて、基礎学術分野において国際的に通用する高度の研究的資質を持つ広い視野を備えた研究者の育成を教育の目的とします。

### 【入学者選抜の基本的な考え方】

総合研究大学院大学は、入学者を選抜するにあたって、それぞれの専攻を担当する大学共同利用の研究所その他の機関が担っている先端的な学術分野において、自立的に研究を推進することのできる基礎学力と論理的な思考力を重視します。そのような力を適正に判定するために、専攻ごとに多様な選抜を実施します。

### 【求める学生像】

総合研究大学院大学は、研究に対する強い興味を持ち、学問の全体を俯瞰的に捉えながら、新しい時代を切り開く研究を目指して、豊かな知性と感性を絶えず研磨し、国際的に活躍する意志と熱意を持った学生を求めます。

## I. 文化科学研究科 アドミッション・ポリシー

### 文化科学研究科

#### 【研究科の基本方針】

総研大における唯一の文科系研究科として、国立民族学博物館、国際日本文化研究センター、国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館という4つの基盤機関が扱う分野を対象に、具体的な資料やフィールドに基づいて専門分野を深く考究すると共に、幅広い総合的な視野をもって研究を行うことのできる人材の育成を行います。

#### 【求める学生像】

人間の文化と社会に関する特定の分野や具体的な対象について深い関心を持つと共に、広い視野に基づいた学際的、国際的な研究を行おうとする学生を求めます。研究成果を社会へ還元し、貢献しようとする学生を歓迎します。

#### 【入学者選抜の基本的な考え方】

文化科学研究科の課程は、後期博士課程(博士)のみです。審査は、修士論文またはそれに代わる学術論文と、志望研究内容などの書類、および面接によって行います。

## 地域文化学専攻

### 【専攻の基本方針】

地域文化学専攻では、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ及びオセアニアの諸地域に居住する人びとの文化に関する教育研究を行っています。各々の地域の特性や歴史を考慮しながら、民族誌学的方法論に基づく文化の記述、構造の解明、動態の把握を目指します。現地調査から得られたデータを分析し、理論化し、学術的な貢献と実践的な提言ができる人材を養成します。

### 【求める学生像】

- ・世界の多様な地域の文化について深い関心を抱き、とりわけ文化人類学・民族学の基礎研究に強い意欲をもって、在学中の研究活動を遂行できる学生
- ・研究対象地域の文化に関するデータ収集のための調査に必要な方法論上の基礎知識と基礎的語学力を備え、在学中に調査を遂行できる学生
- ・特定地域を横断または包摂するような超域的な文化動態を広い視点から調査研究する意欲をもつ学生
- ・世界の多様な地域の人びとが直面する現代的課題に積極的に関与しようとする意欲をもつ学生
- ・学術論文の十分な読解力と基礎的な執筆力を備える学生

### 【入学者選抜の基本的な考え方】

第一次選抜(書類審査)では、修士論文または他の学術論文について、独創性、研究史の把握、実証性、論理性の各項目に基づき評価します。また、研究内容(研究活動の概要、これまでに行った研究の要旨、これから志望する研究)については、計画の妥当性、計画の具体性、学問的意義、発展性の各項目に基づき評価します。

第二次選抜(面接審査)では、これまでに行った研究、修士論文等の内容、これから志望する研究に関する口頭試問を通して討論能力、語学力、研究意欲等を評価します。

書類審査、面接審査の各項目の評価を総合的に判断し、合否を判定します。

## 比較文化学専攻

### 【専攻の基本方針】

比較文化学専攻では、比較社会、比較宗教、比較技術、比較言語、比較芸術、文化資源という6つの分野に関する教育研究を行っています。諸文化の比較研究によって各々に通底する普遍性の発見と理論的解釈を目指します。従来の文化人類学的方法論に加えて、情報科学などの隣接諸科学の成果を導入し、新しい方法の開発を積極的に進める高度な研究能力を備えた人材を養成します。

### 【求める学生像】

- ・人類の諸文化について広い関心を抱き、とりわけ学問的理論化やその社会的応用に強い意欲をもって、在学中の研究活動を遂行できる学生
- ・研究対象とする文化に関するデータ収集のための調査に必要な方法論上の基礎知識と基礎的語学力を備え、在学中に調査を遂行できる学生
- ・文化人類学・民族学のみならず隣接諸科学にも強い関心をもち、横断的・学際的な領域を切り開こうとする意欲をもつ学生
- ・複雑化するグローバルな現代社会の諸課題に積極的に関与しようとする意欲をもつ学生
- ・学術論文の十分な読解力と基礎的な執筆力を備える学生

### 【入学者選抜の基本的な考え方】

第一次選抜(書類審査)では、修士論文または他の学術論文について、独創性、研究史の把握、実証性、論理性の各項目に基づき評価します。また、研究内容(研究活動の概要、これまでに行った研究の要旨、これから志望する研究)については、計画の妥当性、計画の具体性、学問的意義、発展性の各項目に基づき評価します。

第二次選抜(面接審査)では、これまでに行った研究、修士論文等の内容、これから志望する研究に関する口頭試問を通して討論能力、語学力、研究意欲等を評価します。

書類審査、面接審査の各項目の評価を総合的に判断し、合否を判定します。

## 国際日本研究専攻

### 【専攻の基本方針】

国際日本研究専攻は、独創性、実証性、周辺分野に関する学際的で広範囲な知識を軸にした日本研究の教育指導を行い、多角的な視野と国際的に高い水準の能力を備えた次世代の日本研究を担う研究者の育成を目的とします。

### 【求める学生像】

日本研究を広い視野に立つて行う学際的研究に強い関心と意欲を有し、自立した研究者として将来にわたって研究活動を発展させ、日本研究の国際化に貢献できる学生を期待しています。

### 【入学者選抜の基本的な考え方】

第一次選抜(書類審査)では、提出された修士論文や学術論文等を評価し、志望研究内容およびその他の出願書類を総合的に評価して判定します。修士論文・学術論文等は、論文形式、独創性・発展性、論理性・実証性について、志望研究内容は、独創性、計画性、将来性について、評価します。(修士論文以外では既に刊行された論文等の提出があった場合は、修士論文とあわせて評価します。)

第二次選抜(面接審査)では、口頭試問を通してこれまでの研究実績や、これから志望する研究テーマ、さらにプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、将来性を審査し、第一次選抜の評点に加え、総合的に判定します。

## 日本歴史研究専攻

### 【専攻の基本方針】

日本歴史研究専攻では、文献史学・考古学・民俗学・分析科学などの各専門家の指導と、基盤機関である国立歴史民俗博物館が保有する膨大な実物資料と多様な情報資料の活用によって、高度な総合的能力を持つ研究者を育成することを目的とします。

### 【求める学生像】

広義の日本歴史およびその隣接分野の研究主題について強い関心を持ち、自主的で持続的な研究活動を通して、自立的な研究者として成長する意欲をもつ学生。またその研究成果が社会の具体的な場に生かされるという意味で、社会人学生の入学を歓迎します。

### 【入学者選抜の基本的な考え方】

1. 第一次審査では、専門の異なる複数教員によって、主に修士論文などについて、その論文形式・独自性・発展性・論理性・実証性の各項目について評価を行います。また、志望研究内容については、独自性・計画性の各項目について評価を行います。
2. 第二次審査では、口頭試問を通し、論文内容・専門知識の確認に始まり、研究意欲や研究計画、さらに研究者としての資質や将来性について評価します。またこの過程を通して、コミュニケーション能力の有無も重視します。

## 日本文学研究専攻

### 【専攻の基本方針】

日本文学研究専攻は、日本文学及びその周辺分野において深い専門知識を持ち、文化資源に基づいて国際的な基盤に立脚した高度な研究を行う研究者と、研究業績によって社会に貢献できる人材育成を目的とします。

### 【求める学生像】

1. 日本文学及びその周辺分野の研究に高い関心と強い意欲を有する人
2. 文化資源を活用しながら研究を進めることと、専門的な調査技術と総合的な分析力・知識・技能等を修得することに意欲のある人
3. 論理的な思考能力や文章表現力、独創的視点を有する人

### 【入学者選抜の基本的な考え方】

1. 第一次選抜(書類選考)においては、志望研究内容等、研究科が提出を求めた資料に基づいて選考を行います。
2. 第二次選抜(論文審査、面接)においては、修士論文等の実証性・論理性・独創性等、基礎的な研究能力を重視し、かつ、論文内容・専門知識・研究計画等に関する口頭試問を通じて、研究者としての適性を判断します。



## Ⅱ. 文化科学研究科の概要

文化科学研究科は、人間の文化活動並びに人間と社会、技術及び自然との関係に係る総合的教育研究を行い、国際的通用性を持つ広い視野を備えた高度な研究者及び高度な研究能力をもって社会に貢献する人材の育成を目的としています。

### 学位(博士)の取得について

本学に3年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については短縮することがあります。

専攻名	学位に付記する分野		英文学位
地域文化学専攻	文学	博士論文の内容によっては学術	Doctor of Philosophy
比較文化学専攻	文学		
国際日本研究専攻	学術		
日本歴史研究専攻	文学	博士論文の内容によっては学術	
日本文学研究専攻	文学		

### 授業科目等について

- 研究科・専攻の授業科目については、本学ウェブサイトをご参照ください。

TOP>教育・研究>カリキュラム>科目の履修

<https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/course/>

- 特別教育プログラム

本学では、高度の専門性、広汎な視座及び国際性を備えた若手研究者を育成することを目的に教育を行っています。この考え方は全ての研究科に共通していますが、学問の新たな進展に適確に対応するため、研究科や専攻を横断した新たな教育課程として「特別教育プログラム」を展開しています。

詳細は、以下の本学 Web サイトをご覧ください。

[https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/interdep\\_program/](https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/interdep_program/)

- コース群について

本学では、総合的な教育の視点から、複数の研究科・選考が提供する授業科目をグループとしてまとめ、研究科・専攻を超えて履修できる「コース群」を設置しています。

詳細は、以下の本学 Web サイトをご覧ください。

<https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/coursegroups/>

### Ⅲ. 出願手続き及び注意事項

#### 1. 募集人員

専攻	課程の種類	講座(分野)	4月入学
地域文化学専攻	博士後期課程	アジア地域文化Ⅰ、アジア地域文化Ⅱ、ヨーロッパ地域文化、アフリカ地域文化、アメリカ地域文化、オセアニア地域文化	3人
比較文化学専攻		比較社会研究、比較宗教研究、比較技術研究、比較言語研究、比較芸術研究、文化資源研究	3人
国際日本研究専攻		国際日本研究	3人
日本歴史研究専攻		日本歴史研究	3人
日本文学研究専攻		日本文学研究	3人

#### 2. 出願資格

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当する者とします。

##### A 修士または専門職学位を有する者

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び入学の前月までに取得する見込みの者

##### B 修士または専門職学位に相当する外国の学校等の学位をもつ者

- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ⑤ 学校教育法施行規則第 156 条第 4 号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者

##### C 修士または専門職学位に相当する学力のある者(事前に出願資格認定審査を行います)

- ⑥ 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和 49 年文部省令第 28 号)第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び入学の前月までに認められる見込みの者
- ⑦ 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者及び入学の前月までに 2 年以上研究に従事する見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑧ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者及び入学の前月までに 2 年以上研究に従事する見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑨ 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学の前月までに 24 歳に達しているもの

出願資格について疑問がある場合は、あらかじめ学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp または電話 046-858-1525・1526]へ照会してください。

### 3. 出願資格認定審査

出願資格C(⑥～⑨)により出願しようとする者については、出願資格認定審査を受ける必要があります。

該当する者につきましては、「4. 出願書類受付」に定める受付期間内(2021年11月1日～11月4日)に学務課学生係へ所定の書類を提出してください。なお、出願書類は出願資格審査が終了するまでその受理を保留します。

「修士または専門職学位に相当する学力」の審査は、下記により行います。下記の審査によって学力が認定された者については、「6. 選抜の方法、期日及び試験会場」に定める選抜を行います。

地域文化学専攻	原則として書類審査で行いますが、面接を求める場合もあります。
比較文化学専攻	
国際日本研究専攻	刊行された学術論文または著作及び志望研究内容を中心に書類審査で行います。(必要のある場合は面接を行います。)
日本歴史研究専攻	学術論文(刊行された論文または著作2編以上)と志望研究内容を中心に書類審査で行います(必要のある場合は面接を行います)。
日本文学研究専攻	書類審査で行います。 出願資格⑨により出願する者については、雑誌等に掲載された学術論文と志望研究内容を中心とした書類審査を行います。 なお、必要のある場合は、筆記試験等を含む面接を行います。

(注)詳細については、各専攻に問い合わせてください。

出願資格審査についての提出書類等は、以下のとおりとします。

#### (1) 提出書類

書類等	摘要
ア. 入学者選抜出願資格認定申請書	本学所定の様式(別紙様式7)
イ. 通常の出願書類	「5. 出願書類等」に定める書類 ※ただし、検定料については出願資格が認定された後に払い込んでください。
ウ. その他専攻が必要と認める書類	詳細については、各専攻に問い合わせてください。

上記ア、イ及びウは、一括して提出してください。

#### (2) 出願資格認定審査の結果

出願資格認定審査の結果は、2021年11月25日(木)の前までに本人に通知します。

出願資格を認定された者については別紙様式8を参照し、検定料を払い込んでください。また、払い込み後、検定料払込証明書に振替払込受付証明書(お客さま用)を貼付け、学務課学生係まで提出してください。

### 4. 出願書類受付

#### (1) 受付期間

それぞれの受付期間の最終日までに必着とします。

受付期間	出願資格A及びBに該当する者	出願資格Cに該当する者
		2021年11月25日(木) ～2021年12月1日(水)

※受付期間は、期間中の平日9:00～12:00、13:00～17:00とします。

#### (2) 出願方法

原則として郵送とします。必ず速達・簡易書留郵便としてください。

提出先(総合研究大学院大学学務課学生係)に直接提出する場合は、受付期間最終日の17時までに持参してください。

各専攻を置く基盤機関では受け付けませんので注意してください。

〔留意事項〕

封筒の表に「〇〇専攻出願書類在中」(出願資格Cによる場合は「〇〇専攻出願書類及び出願資格認定申請書在中」)と朱書きしてください。〇〇の箇所には、出願を希望する専攻の名前を記入してください。

郵送前には記入漏れ、書類不備のないことを必ず確認してください。また、郵送に際しては郵便事情及び書類不備の場合も考慮し、十分余裕をもって発送してください。

提出先  
〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)  
総合研究大学院大学 学務課学生係  
電話番号:046-858-1525・1526

## 5. 出願書類等

出願にあたり、後述の各専攻の「受験される皆さんへ」を熟読してください。また、出願書類は黒や青のペンまたはボールペン(消せるものや時間の経過により字が消えるものは使用不可)で記入してください。

出願者は、以下の書類を「4. 出願書類受付」に定めている期間内に、学務課学生係に提出してください。

別紙様式2・3・4・5については、本学ウェブサイト([https://www.soken.ac.jp/admission/general\\_admission/guideline/bunka/](https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/guideline/bunka/))からダウンロード可能です。

なお、出願書類は返却しません。

### 【全員提出が必要なもの】

書類等	摘要
1. 入学願書・受験票 (別紙様式1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学所定の様式(別紙様式1)に記入してください。</li> <li>・出願前3ヶ月以内に上半身、脱帽、正面向きの写真(縦 4.5cm×横 3.5cm)を、所定の位置2箇所に貼付してください。</li> <li>・募集要項の記載内容を熟読し、その内容に同意をしたうえで署名してください。</li> </ul>
2. 成績証明書(原本)	<p>出願資格Aの者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院(修士課程または専門職大学院)の成績証明書(原本)及び大学(学部)の成績証明書(原本)の両方を提出してください。</li> <li>・編入学により認定されている科目がある場合には、編入学前の大学(学部)の成績証明書も提出してください。</li> </ul>
	<p>出願資格Bの者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の大学院(修士課程又は専門職大学院)及び大学(学部)等の成績証明書(原本)を提出してください。</li> <li>・英語以外の言語で書かれたものは、日本語又は英語の翻訳文を添付してください。</li> </ul>
	<p>出願資格Cの者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終学歴に係る成績証明書(原本)を提出してください。</li> </ul>
3. 修士課程修了(見込) 証明書等(原本)	<p>出願資格Aの者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院(修士課程または専門職大学院)の修了(見込)証明書を提出してください。</li> </ul>
	<p>出願資格Bの者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の大学院等の修了(見込)証明書を提出してください。</li> <li>・英語以外の言語で書かれたものは、日本語又は英語の翻訳文を添付してください。</li> </ul>
	<p>出願資格Cの者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終学歴に係る卒業証明書を提出してください。</li> </ul>
※修了証明書は取得学位 が記載されているもの	

書類等	摘要
4. 研究活動の概要 (別紙様式3)	<p>研究活動の概要を各専攻の以下の定めた方法により、作成してください。言語や文字数は各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。</p> <p>【地域文化学専攻・比較文化学専攻】            学術論文等を提出する場合は、そのうち特に評価の対象としてほしい論文1編について、題名に下線を付して本学所定の様式(別紙様式4)にその要旨を記入してください。</p> <p>【国際日本研究専攻】            学術論文等のうち、要旨(別紙様式4)を提出する題名に下線を付してください。</p> <p>【日本歴史研究専攻】            提出した学術論文について、特に評価の対象としてほしい論文がある場合は、題名に下線を付してください(ただし1編のみ)。</p> <p>【日本文学研究専攻】            提出した修士論文、学術論文のうち、特に評価の対象としてほしい論文1編について、必ず題名に下線を付してください。            記載すべき研究活動がない場合は、学術論文、研究報告等の題名記載欄に「なし」と記入のうえ、提出してください。</p>
5. 学術論文等の要旨 (これまでに行った研究の要旨) (別紙様式4)	<p><b>発表した学術論文等がある者</b>            発表した学術論文等の要旨を各専攻の定めた方法により、作成してください。言語や文字数は各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。</p> <p>【地域文化学専攻・比較文化学専攻】            別紙様式3にて下線を付したものの要旨を記入してください。</p> <p>【国際日本研究専攻】            提出した学術論文等のうち主要なもの1編(別紙様式3にて下線を付したもの)についての要旨を記入してください。</p> <p>【日本歴史研究専攻】            提出した学術論文についての要旨を記入してください。</p> <p>【日本文学研究専攻】            別紙様式3にて下線を付したものの要旨を日本語で記入してください。</p> <p><b>発表した学術論文等がない者</b>            【地域文化学専攻・比較文化学専攻・国際日本研究専攻・日本歴史研究専攻】            発表した学術論文等がない者は、これまでに行った研究の要旨を記入してください。言語や文字数は各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。</p> <p>【日本文学研究専攻】            別紙様式4に「なし」と記載してください。</p>
6. 志望研究内容 (別紙様式5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学に入学した場合に志望する研究の内容(概要)を、本学所定の様式(別紙様式5)に記入してください。</li> <li>・言語や文字数等、詳細は各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。</li> <li>・特に希望する教員があれば、その氏名を希望指導教員の欄に記入してください。</li> </ul>
7. 検定料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定料は 30,000 円です。払い込みの方法については別紙様式8を参照してください。</li> <li>・国費外国人留学生は、検定料は不要です。国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。</li> <li>・出願資格Cの者は、出願資格が認定された後に検定料を払い込んでください(2021年12月1日まで)。</li> </ul>
8. 連絡受信先シール (別紙様式9)	本学所定の様式に記入してください。
9. 受験票送付用封筒	本要項裏表紙に添付されている所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手 704 円分を貼付してください。

【該当者のみ提出が必要なもの】

書類等	提出該当者	摘要
10. 履歴書 (別紙様式1-2)	外国で教育を受けた者	・本学所定の様式に所要事項を記入してください。
11. 学位(修士)論文の 要旨(別紙様式2)	修士の学位を有する者又は修士課程在学中で修士論文を作成中あるいは提出済の者	・本学所定の様式(別紙様式2)に記入してください。 <u>修士論文作成中の者も提出してください。</u> ・言語や文字数等、詳細は各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。
12. 学位(修士)論文 (写し)	修士の学位を有する者又は修士課程在学中で修士論文を提出済の者	・修士の学位を取得した(もしくは、取得予定の)修士論文について、以下の部数を提出してください。 【地域文化学専攻・比較文化学専攻】2部 【国際日本研究専攻】3部 【日本歴史研究専攻】3部 【日本文学研究専攻】3部 ・学位(修士)論文(写し)の表紙右上に「修士論文(写し)」と朱書きしてください。 ・言語については各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。
	修士論文を作成中の者	・修士論文提出予定日報告書(別紙様式 10)を受付期間に提出し、所定の期日までに修士論文の写しを提出してください(各専攻の「受験される皆さんへ」を参照)。
13. 学術論文等(写し)	発表した学術論文等がある者	・発表した学術論文等がある者は、以下の部数を提出してください。(地域文化学専攻、比較文化学専攻、国際日本研究専攻は、刊行前論文の提出も可) 【地域文化学専攻・比較文化学専攻】2編以内、各2部 【国際日本研究専攻】3部 【日本歴史研究専攻】2編以内、各3部 【日本文学研究専攻】2編以内、各3部 ・学術論文等(写し)の表紙右上に「学術論文(写し)」と朱書きしてください。 ・修士論文を基にして刊行された論文等は、学術論文として扱います。 ・刊行前論文を提出する場合はその旨記載のうえ、「論文受理証明書」(様式自由)を必ず提出してください。 ・言語については各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。
14. 在職在学許可書 (別紙様式6)	在職している者(正規の職員である者または雇用期間が1年以上かつ30時間以上の職に就いた者)	・在職している者(非常勤・アルバイトを除く)は当該所属長の在職在学許可書を提出してください。 ・ただし、在職在学許可書の提出が困難な者または退職して入学する予定の者は、本人がその旨記載した申立書(押印必要)をもって在職在学許可書に代えることができます。 ※現に在職中の者で、本学への入学時に退職予定である者は、その旨を記載した申立書(様式任意)を提出すること
15. For Non-Japanese Applicants Applying From Abroad (別紙様式 11)	国際日本研究専攻出願者のうち日本国外に居住する者	・本学所定の様式にて提出してください。
16. 在留カードまたは パスポート(写し)	外国籍出願者	・日本国内に居住する者は、在留カード(両面)のコピーを提出してください。 ・日本国外に居住する者は、パスポートの本人情報ページのコピーを提出してください。

書類等	提出該当者	摘要
17. 博士論文(写し)	他大学院博士課程 修了者	・他大学院博士課程修了者は、博士論文の写しを3部提出してください。 ・言語については各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。
18. 博士論文の要旨 (別紙様式4)	他大学院博士課程 修了者	・他大学院博士課程修了者は、博士論文の要旨を、本学所定の様式(別紙様式4)に記入してください。 ・言語や文字数は各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。
19. 入学者選拔出願資格 認定申請書 (別紙様式7)	出願資格Cの者	・本学所定の様式に記入してください。
20. 著作または論文 (写し)	出願資格Cの者	・刊行された著作または論文の写しを、それぞれ提出してください(地域文化学専攻・比較文化学専攻は刊行前論文の提出も可)。 【地域文化学専攻・比較文化学専攻】1編以上、各2部 【国際日本研究専攻】2編以上、各3部 【日本歴史研究専攻】2編以上、各3部 【日本文学研究専攻】2編以内、各3部 ・言語については各専攻に問い合わせてください。 ・刊行前の著作または論文を提出する場合はその旨記載のうえ、受理証明書(様式自由)を必ず提出してください。
21. 著作または論文の 要旨(別紙様式4)	出願資格Cの者	・上記20で提出した著作または論文の要旨を別紙様式4に記入してください。 ・言語や文字数は各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。

〔留意事項〕

- (1)提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、出願書類は返却しません。
- (2)婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本(写し可)を添付してください。
- (3)出願資格Bの者は、「修士」「修士の学位」を「修士または専門職学位に相当する外国の学校の学位」と読み替えること。

## 6. 選抜の方法、期日及び試験会場

入学出願者の選抜は、第一次選抜(書類選考等の審査)と第二次選抜(面接等)により行います。

ただし、出願資格Cにより出願しようとする者については、選抜の前に「修士の学位を有する者と同等以上の学力の認定」を行います。

各専攻における選抜の方法についての詳細は、後述の各専攻の「受験される皆さんへ」を参照してください。

①第一次選抜

志望研究内容等、その他専攻が求めた資料について行います。

②第二次選抜(第一次選抜合格者についてのみ行います)

これまでに行った研究及び今後志望する研究の内容を中心に行います。

専攻	対象者	第二次選抜の実施期間
		2022年4月入学
地域文化学専攻		2022年1月24日(月)(予備日:1月25日(火))
比較文化学専攻		2022年1月24日(月)(予備日:1月25日(火))
国際日本研究専攻		2022年1月24日(月)(予備日:1月25日(火))
日本歴史研究専攻		2022年1月26日(水)(予備日:1月27日(木))
日本文学研究専攻		2022年1月27日(木)(予備日:1月28日(金))

・第一次選抜の可否は、入学願書に記載された連絡先に文書で個別に連絡します。また、第一次選抜合格者には、面接日時等詳細を通知します。

・第一次選抜の可否通知の送付予定日については、本学ウェブサイト([https://www.soken.ac.jp/admission/general\\_admission/guideline/bunka/](https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/guideline/bunka/))を確認してください。第二次選抜の実施予定日の3日前を過ぎても到着しない場合は、学務課学生係まで問い合わせてください。

試験会場：

地域文化学専攻	国立民族学博物館(〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号) ・大阪モノレール「万博記念公園駅」「公園東口駅」下車徒歩約15分 ・阪急茨木市駅・JR茨木駅より近鉄バスで「日本庭園前」下車徒歩約13分 ・タクシーは日本庭園前駐車場まで入ることができます。下車徒歩約5分 ・万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。
比較文化学専攻	・詳細な交通案内はウェブサイト( <a href="https://www.minpaku.ac.jp/">https://www.minpaku.ac.jp/</a> )参照 担当係:研究協力課 研究協力係(大学院担当) 電 話:06-6878-8236
国際日本研究専攻	オンラインにより実施します。詳細は、後述の「国際日本研究専攻」を受験される皆さんへを参照してください。
日本歴史研究専攻	国立歴史民俗博物館(〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 番地) ・京成佐倉駅より徒歩約 15 分、またはバスで「国立博物館入口」か「国立歴史民俗博物館」で下車 ・JR佐倉駅よりバスで「国立博物館入口」か「国立歴史民俗博物館」で下車 ・詳細な交通案内は歴博ウェブサイト( <a href="https://www.rekihaku.ac.jp/">https://www.rekihaku.ac.jp/</a> )参照 担当係:研究協力課 研究教育係 電 話:043-486-4361 E-mail:soken@ml.rekihaku.ac.jp
日本文学研究専攻	国文学研究資料館(〒190-0014 東京都立川市緑町10-3)もしくはオンラインにて実施します。 ・多摩モノレール高松駅より徒歩約10分 ・JR立川駅よりバスで「立川学術プラザ」下車、徒歩1分 ・詳細については国文研ウェブサイト( <a href="https://www.nijl.ac.jp/">https://www.nijl.ac.jp/</a> )参照 担当係:総務課 教育支援係 電 話:050-5533-2915

## 7. 合格者発表

2022年2月上旬 ※ 詳細は追って通知します。

- ・第二次選抜の合格者に対しては合格通知書を発送します。
- ・合格者発表は、本学ウェブサイト上([https://www.soken.ac.jp/admission/general\\_admission/result/](https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/result/))でも行いますが、必ず 郵送による本人宛通知文書で確認してください。なお、電話による照会には、一切応じません。

## 8. 入学手続き

(1)入学手続き期限及び場所

提出期限	2022年3月14日(月)まで
提出先	総合研究大学院大学 学務課 学生係

- ・合格者は上記期限までに入学手続きを完了させてください。なお、詳細は合格者に別途通知します。



## (2) 入学に要する経費

入学金	282,000 円
授業料(年額 535,800 円のうち半期分)	267,900 円
学生教育研究災害傷害保険料(3年分)(通学特約・賠償特約付)	3,620 円

(注)・国費外国人留学生は、入学金及び授業料は不要です。

・入学時及び在学中に入学金及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

・納付済みの入学金は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、学生教育研究災害傷害保険料については、2022年3月31日までに入学を辞退した場合に返還します。

## (3) 任命権者が発行する書類の提出について(在職のまま入学される方)

在職(非常勤、アルバイトを除く)のまま入学される方については、任命権者が発行する書類(在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等のいずれか)を提出してください。

## (4) 出願時に他の大学院に在籍している者(本学入学の前月までに修了する者は除く)は、退学証明書を提出してください。

## (5) 外国籍の方は、特別な事情のない限り、「留学」の在留資格を取得してください。「留学」の在留資格の取得方法は本学ウェブサイトにて案内しています。

## 9. 注意事項

(1) 出願及び受験の際は、15～22 ページの各専攻の「受験される皆さんへ」を熟読してください。

(2) 出願書類受理後の提出書類の返却及び内容変更は認められません。

(3) 在職(非常勤、アルバイトを除く)のまま入学を許可された者は、各専攻において教育・指導を受け、研究に専念してください。

(4) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(5) 出願時に他の大学院に在学中で転入学を希望する場合は、願書受付期間の最終日までに学務課学生係までお知らせください。

(6) 心身に障害のある出願者で受験時及び入学後の履修に際し、特別な措置を必要とされる方は、出願書類受付期間の3ヶ月前までにその旨お知らせください。

(7) 受験を辞退される場合には、事前に学務課学生係までお知らせください。

[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp または Fax:046-858-1632]

(8) 出願書類提出後に、住所等の変更がある場合には、学務課学生係までお知らせください。

[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp または Fax:046-858-1632]

(9) 本学では、原則として二重学籍を認めていません。

(10) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、入学者選抜の実施方法等を変更する場合は、本学ウェブサイトで公表しますので、必ず確認してください。

## 10. 安全保障輸出管理について

外国で教育を受けた方または研究歴のある方は、入学後に受けようとする教育や研究指導の内容によっては「外国為替及び外国貿易法」にもとづく許可を要する場合がありますので、注意してください。詳細は各専攻まで問い合わせてください。

## 11. 個人情報の取り扱いについて

(1) 出願時に提出いただいた氏名、住所、その他の個人情報等については、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続き」等の入試業務を行うために利用します。

なお、入学者の個人情報については、「教務関係(学籍管理、就学指導)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料徴収に関する業務」を行うことにも使用します。

(2)入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

## 「地域文化学専攻」及び「比較文化学専攻」を受験される皆さんへ

### 1. 選抜の方法について

入学出願者の選抜は、第一次選抜(書類選考)と第二次選抜(論文審査及び面接)により行います。

#### 第一次選抜

##### ① 書類選考

志望研究内容等、提出を求めた資料について行います。

#### 第二次選抜

##### ② 修士(学術)論文等の審査

修士の学位を有する者及び修士課程在学中の者については修士論文等、また出願資格認定審査により出願資格が認められた者については学術論文又は著作等を審査します。

##### ③ 面接

面接は書類選考合格者についてのみ行うものとします。

書類選考の可否は面接日の前までに、入学願書に記載された連絡先に文書で個別に連絡します。

(可否通知が面接日の3日前を過ぎても到着しない場合は、総合研究大学院大学 学務課 学生係まで問い合わせてください)。

面接は、主として修士論文(修士論文のない者については、学術論文等又はこれまでに行った研究の要旨)の内容及び志望研究内容を中心に行います。

### 2. 出願にあたっての注意事項

(1) 地域文化学専攻及び比較文化学専攻の一方を志望する者は、他方を第2志望とすることができます。また、選考の結果、どちらかの専攻を合格とします。

(2) 地域文化学専攻及び比較文化学専攻は、国際日本研究専攻、日本歴史研究専攻及び日本文学研究専攻との併願は認めません。

(3) 修士の学位論文等について

① 所属研究科の修士論文提出締切日が出願期間後であって、出願時に論文を提出できない者については、2022年1月4日(火)午後5時(必着)までに提出できる見込みがある場合に限り出願を認める特別措置があります。この特別措置を希望する者は、出願時に(別紙様式10)を添付してください。

なお、この場合、修士論文の提出先は国立民族学博物館研究協力課研究協力係となりますのでご注意ください。この期限を過ぎても論文が提出されないと、受験を辞退したものとします。

ただし、修士論文の要旨(別紙様式2)については、他の出願書類と同時に通常の受付期間内に提出してください。

② 修士論文以外に、学術論文を2編以内(各2部)提出することができます。刊行前論文を提出する場合はその旨記載のうえ、論文受理証明書(様式自由)を必ず提出してください。

これらの論文を提出する場合は、その題名を「研究活動の概要」(別紙様式3)に記入してください。そのうち特に評価の対象としてほしい論文1編について、題名に下線を付して「学術論文等の要旨」(別紙様式4)にその学術論文の要旨を記入してください。

提出論文等が日本語・英語以外の言語で書かれたものは、日本語または英語の翻訳文(2部)を添付してください。翻訳文の分量については、修士論文の場合は日本語 12,000 字以上、英語 6,000 語以上、それ以外の論文の場合は日本語 4,000 字以上、英語 2,000 語以上です。以上の分量を満たしていれば、全文訳は必要ありません。

なお、提出に際して不明な点があれば、4.問い合わせ先に確認してください。

(4) 志望研究内容(別紙様式5)について

志望指導教員欄には、希望がある場合は指導教員の氏名を記入し、とくに希望がない場合は欄に斜線を引いてください。この欄の記入については、合否の判定に関わるものではありません。しかし、博士後期課程入学者は、指導教員の下、学業・研究活動をするようになります。希望する指導教員について自ら検討し、可能な範囲で事前に連絡をとることは、受験の準備として望ましいことです。希望する指導教員に連絡を取りたい方は、下記 4. 問い合わせ先までご連絡ください。

(5) 別紙様式2、4、5は、2,000 字以内で記入してください(英語で記載する場合の語数は 1,000 語程度とします。パソコン・ワープロによる作成可)。

(6) 日本語または英語を母国語(第一言語)としない者で、TOEFL、TOEIC、JLPT 等の語学能力検定試験を受験した方は、成績表(スコアシート原本)を提出してください。書類選考において、言語能力証明の参考資料とします。

(7) 障がい等があり、受験および入学後の履修に際し、特別な措置を必要とする者は、原則として出願書類受付期間の 3 ヶ月前までに、国立民族学博物館研究協力課研究協力係(大学院担当)に申し出てください。なお、この申出によって不利益を被ることはありません。

### 3. 採点・評価基準及び合格判定基準

入学者選抜委員会により、修士(学術)論文等、志望研究内容、面接を総合的に評価し、合否の判定を行います。主な評価基準の項目は以下のとおりです。

- ① 修士(学術)論文等  
独創性、研究史の把握、実証性、論理性等
- ② 志望研究内容  
計画の妥当性、計画の具体性、学問的意義、発展性等
- ③ 面接  
討論能力、語学力、研究意欲等

採点評価に関わる問い合わせには一切お答えできません。

### 4. 問い合わせ先

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
国立民族学博物館 研究協力課 研究協力係(大学院担当) (平日 9:00~17:00)  
TEL 06-6878-8236  
FAX 06-6878-8479  
E-mail:souken@minpaku.ac.jp

## 「国際日本研究専攻」を受験される皆さんへ

### 1. 選抜の方法について

入学出願者の選抜は、第一次選抜(書類選考、修士論文等の審査)と第二次選抜(面接)により行います。

#### 第一次選抜

##### ① 書類選考

志望研究内容等、その他提出を求めた資料について行います。

##### ② 修士論文等の審査

- ・修士の学位を有する者及び修士課程修了見込の者については、提出された修士・学術論文を審査します。
- ・出願資格認定により出願資格が認められた者については、提出された著作または論文を審査します。

#### 第二次選抜

##### ③ 面接

主として論文等(修士論文のない者は、発表した学術論文等またはこれまでにに行った研究の要旨)の内容及び志望研究内容について行います。

国内外を問わず面接試験についてオンラインで実施します。

オンラインでの受験には、個室で ZOOM が使用できる環境が必要です。

2022年1月20日(木)13:30~15:30の間に事前接続テストを行います。オンラインでの接続方法の詳細は、第一次選抜合格者に対し、入学願書に記載された連絡先に受験票を発送する際に、併せて文書で個別に連絡します。

### 2. 出願にあたっての注意事項

#### (1)併願について

本専攻は、本学の地域文化学専攻、比較文化学専攻、日本歴史研究専攻及び日本文学研究専攻との併願は認めません。

#### (2)修士の学位論文等について

所属研究科の修士論文提出締切日が出願期間後であって、出願時に論文を提出できない者については、2022年1月4日(火)正午までに提出できる見込みがある場合に限って出願を認める特別措置があります。

この特別措置を希望する者は、出願時に(別紙様式10)により届け出たうえ、論文の写し(3部)を国際日本文化研究センター研究協力課研究支援係(大学院担当)へすみやかに提出してください。

なお、期限を過ぎても論文提出のない者は、受験を辞退したものとします。

また、学位(修士)論文の要旨(別紙様式2)は、通常の出願受付期間に必ず提出してください。

#### (3)志望研究内容(別紙様式5)について

①「志望教員」欄には、希望する指導教員名を記入してください。

②指導を希望する教員と教育指導領域・内容について面談・メール等により事前に相談してください(教員の連絡先については、国際日本文化研究センター研究協力課研究支援係(大学院担当)まで問い合わせてください)。

(4)別紙様式2、3、4、5は、日本語(2,000字程度)または英語(1,000語程度)で作成してください。

(5)提出論文等が日本語・英語以外の言語で書かれたものは、日本語または英語の翻訳文(3部)を添付してください。

(6)他大学院博士課程修了者は、博士論文の写しを3部提出してください。なお、言語は問いません。

### 3. 採点・評価基準及び合格判定基準

#### (1) 第一次選抜

書類選考・論文等の審査の可否判定基準は、提出された修士・学術論文等の評価(修士論文以外で既に刊行された論文等の提出があった場合は、修士論文と他の刊行論文とあわせて)、志望研究内容の評価、およびその他の出願書類を総合的に評価して判定します。

修士・学位論文等は、論文形式、独創性・発展性、論理性・実証性について、志望研究内容は、独創性・計画性・将来性について、評価します。

#### (2) 第二次選抜

面接では、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、将来性の各項目について評価し判定します。

#### (3) 可否判定基準

第一次選抜および第二次選抜の評価を総合的に評価し、可否を判定します。

### 4. 問い合わせ先

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

総合研究大学院大学 学務課 学生係

電話 046-858-1525・1526 E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp

〒610-1192 京都府京都市西京区御陵大枝山町3-2

国際日本文化研究センター研究協力課研究支援係(大学院担当)

電話 075-335-2052 E-mail:senkou@nichibun.ac.jp

## 「日本歴史研究専攻」を受験される皆さんへ

### 1. 選抜の方法について

入学出願者の選抜は、第一次選抜(書類選考、修士論文等の審査)と第二次選抜(面接)により行います。

#### 【第一次選抜】

##### ・書類選考

志望研究内容等、その他研究科が提出を求めた資料について行います。

##### ・修士論文等の審査

修士の学位を有する者及び修士課程在学中の者については修士論文(ただし、その他の学術論文も評価の対象とすることができます。)を、また出願資格認定審査により出願資格が認められた者については刊行された論文または著作を審査します。

#### 【第二次選抜】

##### ・面接

第二次選抜(面接)は、第一次選抜合格者についてのみ行うものとします。第一次選抜の合否は面接日の3日前までに、入学願書に記載された連絡先に文書で個別に連絡します。

(なお、合否通知が面接日の3日前を過ぎても到着しない場合は、総合研究大学院大学 学務課 学生係まで問い合わせてください。)

面接は、主としては修士論文(修士論文のない者は発表した学術論文等またはこれまでに行った研究の要旨)の内容及び志望研究内容について行います。

### 2. 出願にあたっての注意事項

(1)本専攻は、本学の地域文化学専攻、比較文化学専攻、国際日本研究専攻及び日本文学研究専攻との併願は認めません。

(2)学位(修士)論文および学位(修士)論文の要旨(別紙様式2)について

① 所属研究科の学位(修士)論文の提出締切日が本学への出願期間後であるため、出願時において修士論文を提出できない者については

2022年1月4日(火)午後5時までに、修士の学位を取得することが見込まれる修士論文を本学に提出できる場合に限り出願を認める特例措置があります。

この措置を希望する者は、出願時に(別紙様式10)によって届け出たうえ、論文の写し(3部)を国立歴史民俗博物館 研究協力課 研究教育係へ提出してください。

なお、期限を過ぎても論文提出のない者は、受験を辞退したものとします。

(注)修士論文の要旨(別紙様式2)については、通常の受付期間内に必ず提出してください。

② 学位(修士)論文が日本語以外の言語で書かれている場合には、日本語の翻訳文(3部・12,000字以上)を添付してください。

③ 学位(修士)論文の要旨については、日本語(2,000字程度)で記入してください。

(3)学術論文および学術論文の要旨(別紙様式4)について

① 学位(修士)論文以外に、刊行された学術論文を2編以内(各3部)提出することができます。印刷中の論文を含めることもできますが、その場合は、「論文掲載証明書」を添付してください。

またそれらのうち、修士論文以外で特に評価の対象としてほしい論文がある場合は、「研究活動の概要」(別紙様式3)に記入した題名に下線を付してください(ただし編のみ)。

- ② 学術論文が日本語以外の言語で書かれている場合は、日本語の翻訳文(3部、1論文について4,000字以上)を添付してください。  
また、学術論文の要旨については、日本語の要約文(2,000字程度)で記入してください。

(4) 志望研究内容(別紙様式5)について

- ① 「志望教員」欄には、希望する指導教員名を記入してください。  
② 指導を希望する教員と教育指導領域・内容について事前に相談することが望ましい。  
③ 志望研究内容については、日本語(2,000字程度)で記入してください。

(5) 問い合わせ先

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)  
総合研究大学院大学 学務課 学生係 (平日 9:00~12:00 及び 13:00~17:00)  
電話 046-858-1525・1526 E-mail [gakusei@ml.soken.ac.jp](mailto:gakusei@ml.soken.ac.jp)

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 番地  
国立歴史民俗博物館 研究協力課 研究教育係 (平日 9:00~12:00 及び 13:00~17:00)  
電話 043-486-4361 E-mail [soken@ml.rekihaku.ac.jp](mailto:soken@ml.rekihaku.ac.jp)

### 3. 採点・評価基準

(1) 第一次選抜(修士論文等の審査)

修士論文及び修士論文以外で既に刊行された論文等については、論文形式・独自性・発展性・論理性・実証性の各項目について5段階で評価します。

志望研究内容については、独自性、計画性の各項目について5段階で評価します。

以上の合計点数によって第一次選抜の合格者を決定します。

(2) 第二次選抜(面接)

面接は、人物・応答内容・将来性の各項目について5段階で評価します。

### 4. 合否判定基準

上記3-(1)の評価点と3-(2)の評価点から総合的に判断し合否を判定します。



## 「日本文学研究専攻」を受験される皆さんへ

### 1. 選抜の方法について

入学出願者の選抜は、第一次選抜(書類選考)と第二次選抜(論文審査及び面接)により行います。

#### 【第一次選抜】

①書類選考:志望研究内容等、研究科が提出を求めた資料について行います。

#### 【第二次選抜】

②論文審査:修士論文、雑誌等に掲載された学術論文(刊行された著作物を含む)を総合的に審査します。

③面接:面接は、第一次選抜合格者についてのみ行います。第一次選抜の可否は、面接日の3日前までに入学願書に記載された連絡先に文書で個別に連絡します(合否通知が面接日の3日前を過ぎても到着しない場合は、総合研究大学院大学 学務課 学生係に問い合わせてください)。

面接は、主として修士論文、雑誌等に掲載された学術論文(刊行された著作物を含む)の内容、及び志望研究内容について行います。

新型コロナウイルス感染症対策のため、面接の実施方法は後日決定します。詳細については【総研大 HP:新型コロナウイルス感染症への本学の対応について】(<https://www.soken.ac.jp/news/6564/index.html>)をご確認ください。

### 2. 出願にあたっての注意事項

(1) 本専攻は、本学の地域文化学専攻、比較文化学専攻、国際日本研究専攻及び日本歴史研究専攻との併願は認めません。

(2) 修士論文、雑誌等に掲載された学術論文について

① 所属大学院の修士論文提出締切日が出願期間後であって、出願時に修士論文を提出できない者については、2022年1月17日(月)午後3時までに提出できる見込みがある場合に限って出願を認める特別措置があります。この特別措置を希望する者は、出願時に(別紙様式10により)届け出た上で、修士論文の写し(3部)を国文学研究資料館総務課教育支援係へ上記期限内必着にて提出してください。なお、持参による窓口提出を行う場合は、必ず、事前に教育支援係に連絡の上、論文は厳封して提出してください。

注)・当該修士論文は、所属大学院に提出した(又は提出予定のもの)と内容が同一のものとします。

・上記期限を過ぎても修士論文の提出のない者は、受験を辞退したものとします。

・修士論文の要旨(別紙様式2)については、「出願書類受付」に記載されている期間内に必ず提出してください。

② 修士論文以外に、雑誌等に掲載された学術論文を2編以内(各3部)提出することができます。刊行された著作物は「雑誌等に掲載された学術論文」に含めることができます。

(3) 評価対象の論文

① 提出論文(修士論文及び雑誌等に掲載された学術論文)について、その題名を「研究活動の概要」(別紙様式3)に記入してください。そのうち特に評価の対象としてほしい論文1編について、必ず題名に下線を付してください。下線を付することができる学術論文は、単著又は筆頭著者のものに限りです。

特に評価の対象としてほしい論文が修士論文の場合も必ず題名に下線を付してください。

② 評価対象の論文について、その論文要旨を次のとおり提出してください。

(a) 修士論文に下線を付した場合

・修士論文要旨(別紙様式2。日本語2,000字以内)3部(注)

- (b) 修士論文と学術論文を提出し、学術論文に下線を付した場合  
・修士論文要旨(別紙様式2。日本語 2,000 字以内)3部(注)  
・下線を付した学術論文の論文要旨(別紙様式4。日本語 1,000 字以内)3部(注)
- (c) 学術論文のみを提出する場合(修士論文の提出がない場合)[出願資格Cの者]  
・下線を付した学術論文の論文要旨(別紙様式4。日本語 1,000 字以内)3部(注)
- 注) 当該論文が日本語以外の言語で書かれている場合には、日本語訳文(様式任意。10,000 字以上)3部も提出してください。

- (4) 他大学院博士課程修了者は、博士論文の写し3部及び博士論文の要旨(別紙様式4。日本語 2,000 字以内)3部を提出してください。なお、博士論文が日本語以外の言語で書かれている場合には、日本語訳文(様式・字数任意)3部も提出してください。
- (5) 志望研究内容(別紙様式5)について  
① 「指導教員」欄には、希望する指導教員名を記入してください。  
② 指導を希望する教員と研究指導領域・内容について事前に相談することが望ましい。
- (6) 海外在住者(外国籍の者・日本国籍の者)の出願について  
海外に在住する出願者については、本人の希望により、面接方法について配慮することがあります。所定の日時に国文学研究資料館に来て面接を受けるのが困難な場合は、2021 年 10 月末日までに下記「4. 問い合わせ先」に申し出てください。

### 3. 採点・評価及び合否判定

- (1) 第一次選抜(書類選考)  
書類選考は、出願書類に基づき、研究の妥当性、具体性、学問的意義の各項目について行います。
- (2) 第二次選抜(論文審査、面接)  
論文審査は、実証性、論理性、独創性、研究史の把握、論文形式の各項目について5段階で採点し、それをふまえて日本文学を研究する基礎的な能力を総合的に評価します。  
面接は、論文審査に基づき、研究意欲、表現能力、将来性の各項目について5段階で採点し、それをふまえて研究者としての適性を評価します。
- (3) 合否判定  
第一次選抜及び第二次選抜の評価を総合的に判断し、合否を判定します。

採点評価に関わる問い合わせには一切お答えできません。

### 4. 問い合わせ先

〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3  
国文学研究資料館 総務課 教育支援係  
電話 050-5533-2915  
ウェブサイト <https://www.nijl.ac.jp>

## 地域文化学専攻の担当教員等

アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ及びオセアニア等の地域に居住する人びとの文化や社会を研究対象とします。各々の文化のもつ特性や歴史性について考慮しながら、民族誌学的方法論に基づく文化の記述と構造の把握を目指します。現地調査から得られたデータを分析し、理論化を目指す、高度な研究能力を備えた人材の養成を行います。

各教員の詳細は、国立民族学博物館のホームページ(<https://www.minpaku.ac.jp/education/university/departments/supervisor>)を参照してください。

### 教授

池谷 和信	環境人類学・南部アフリカ研究
檜永 真佐夫	東南アジア文化人類学
齋藤 晃	歴史人類学・ラテンアメリカ研究
新免 光比呂	宗教学・東欧研究
西尾 哲夫	言語人類学・アラブ研究
野林 厚志	民族考古学・台湾/中国研究
信田 敏宏	社会人類学・東南アジア研究
林 勲男(※)	災害人類学・オセアニア研究
平井 京之介	社会人類学・東南アジア研究
三尾 稔	文化人類学・南アジア研究
南 真木人	生態人類学・南アジア研究
森 明子	文化人類学・中部ヨーロッパ研究
山中 由里子	比較文化学・比較文化

### 准教授

相島 葉月	社会人類学・イスラーム学・中東研究
伊藤 敦規	社会人類学・アメリカ先住民研究・博物館人類学
小野 林太郎	海洋考古学・東南アジア・オセアニア研究
川瀬 慈	映像人類学
齋藤 玲子	アイヌ・北方先住民文化研究
島村 一平	文化人類学・モンゴル研究
鈴木 英明	歴史学
中川 理	文化人類学・ヨーロッパ研究
奈良 雅史	文化人類学・中国研究
丹羽 典生	社会人類学・オセアニア地域研究
藤本 透子	文化人類学・中央アジア地域研究
三島 禎子	文化人類学・西アフリカ研究

※今後の定年退職予定者

2022年3月末 林 勲男 教授

## 比較文化学専攻の担当教員等

比較社会、比較宗教、比較技術、比較言語、比較芸術、文化資源という6つの分野を研究対象とします。諸民族文化の比較研究により、各々に通底する普遍性の発見と理論的解明を目指します。従来の文化人類学的方法論に加えて、情報科学や隣接諸科学の成果を導入し、新しい研究方法の開発を積極的にすすめる高度な研究能力を備えた人材の養成を行います。

各教員の詳細は、国立民族学博物館のホームページ(<https://www.minpaku.ac.jp/education/university/departments/supervisor>)を参照してください。

### 教授

飯田 卓	生態人類学・漁民研究
宇田川 妙子	南ヨーロッパ研究・性研究
韓 敏	社会人類学・中国研究
菊澤 律子	言語学・オーストロネシア諸語
笹原 亮二	民俗学・民俗芸能研究
鈴木 七美	文化人類学・医療文化・ライフデザイン研究
鈴木 紀	開発人類学・ラテンアメリカ文化論
關 雄二(※)	アンデス考古学・ラテンアメリカ研究
園田 直子	保存科学
日高 真吾	保存科学
福岡 正太	民族音楽学・東南アジア研究
Matthews, Peter J	先史学・民族植物学
吉田 憲司	博文館人類学・アフリカ研究

### 准教授

上羽 陽子	民族芸術学・染織研究・手工芸研究
卯田 宗平	環境民俗学・東アジア研究
太田 心平	社会文化人類学・北東アジア研究
岡田 恵美	音楽民族学・南アジア研究
菅瀬 晶子	文化人類学・中東地域研究
寺村 裕史	文化情報学・情報考古学
廣瀬 浩二郎	日本宗教史・民俗学
松尾 瑞穂	文化人類学・ジェンダー医療人類学・南アジア研究
丸川 雄三	連想情報学・文化財情報発信
吉岡 乾	言語学・南アジア研究

※今後の定年退職予定教員

2022年3月末 關 雄二 教授

## 国際日本研究専攻の担当教員等

人文科学・社会科学・自然科学にわたる国際的・学際的な日本研究(Japanese Studies)をすすめるために、「教育・研究指導分野」としては、本専攻の特色である全教員の指導による単一の「国際日本研究」を設けています。

共通必修科目としては、「日本研究基礎論」「学際研究論」「論文作成指導」を置き、国際的な立場から「日本研究」の理論的・方法論的な指導を行っています。これらの研究と研究指導を推進することにより、創造的で高度な専門的視野と、幅広い学際性、複数の専攻を横断しうる総合性を備えた研究者の育成を目指しています。

各教員の詳細は、国際日本文化研究センターのホームページ(<https://research.nichibun.ac.jp/pcl/ja/researcher/>)にも掲載しています。

### 教授

荒木 浩	日本文学
磯田 道史	日本史学
磯前 順一	宗教学、批判理論
伊東 貴之	中国思想史、東アジア比較文化交渉史
牛村 圭	比較文学、比較文化論、文明論
大塚 英志	まんが表現史、まんが創作論、近代文学史
倉本 一宏	日本古代史、古記録学
CRYNS, Frederik	日欧交渉史
SCREECH, Timon	日本近世文化・美術
関野 樹	情報学
瀧井 一博	国制史、比較法史
坪井 秀人	日本近代文学・文化史
松田 利彦	日朝・日韓関係史
安井 眞奈美	日本民俗学、文化人類学
山田 奨治	情報学、文化交流史
劉 建輝	日中文化交渉史
RÜTTERMANN, Markus	日本中世社会史(古文書学、文化史学)・記号論・心性史・言動史

### 准教授

榎本 渉	中世国際交流史
楠 綾子	日本政治外交史、安全保障論

### ※今後の定年退職予定教員

2024年3月末 大塚 英志 教授

2024年3月末 倉本 一宏 教授

## 日本歴史研究専攻の担当教員等

先導的研究方法を身につけた創造性豊かで幅広い視野を持つ研究者を育成することを目指します。そのために、様々な歴史資料についての多角的な研究法の基礎の上に立って、歴史学・考古学・民俗学、及び関連諸科学の協業による学際的・総合的な新しい日本歴史研究の実践と確立を目指すことを教育・研究の基本とします。

各教員の詳細は、国立歴史民俗博物館のホームページ([https://www.rekihaku.ac.jp/education\\_research/education/graduate\\_school/soukendai/people/teacher.html](https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/education/graduate_school/soukendai/people/teacher.html))を参照してください。

### 教授

内田 順子	映像記録論
大久保 純一	美術工芸資料論
小池 淳一	村落伝承論
小島 道裕(※)	中世社会論
齋藤 努	分析調査論
坂本 稔	年代資料学
鈴木 卓治	歴史情報科学
関沢 まゆみ	民俗文化資料論
高田 貫太	アジア政治交渉論
西谷 大	
仁藤 敦史	金石文・出土文字資料研究
林部 均	考古資料研究
樋口 雄彦	近現代資料研究
日高 薫	日欧物質文化交流論
藤尾 慎一郎	古代技術史
松尾 恒一	信仰伝承論
松木 武彦	古代社会論
三上 喜孝	画像資料論
山田 慎也	物質文化資料論

### 准教授

青木 隆浩	民俗誌研究
上野 祥史	アジア物質文化交流論
小倉 慈司	古代資料研究
川村 清志	都市伝承論
小瀬戸 恵美	資料保存科学
後藤 真	集中講義D
澤田 和人	近世技術史
田中 大喜	中世資料研究
福岡 万里子	近世資料研究 日欧政治交渉論
松田 睦彦	生態環境史
村木 二郎	中世技術史

※今後の定年退職予定教員

2022年3月末 小島 道裕 教授

## 日本文学研究専攻の担当教員等

従来、書誌的側面と解釈的側面とに分化して発展してきた日本文学研究を、文化科学の視点から総合的にとらえ直し、それぞれの文学資源固有の実態、作品の形成・享受の動態、文学を文学たらしめてきた制度・環境等の視角から相互に照射する総合的文学研究を行います。

基盤機関である国文学研究資料館に集積された膨大な資料を活用しながら専門的な調査・分析を進める能力とともに、そうした専門性を相対化する広い視野・国際感覚を併せ持った、先進的な日本文学研究者を養成します。各教員の詳細は、国文学研究資料館のホームページ(<https://www.nijl.ac.jp/outline/researchers.html>)にも掲載されています。

### 教授

入口 敦志	日本近世文学の研究
海野 圭介	日本中世文学・和歌文学の研究、禁裏公家の古典学に関する研究
落合 博志	日本中世文学・中世芸能の研究、日本古典籍書誌学の研究
神作 研一	日本近世文学、特に和歌史・学芸史の研究
齋藤 真麻理	日本中世文学、特に室町の学芸史、物語絵に関する研究
藤實 久美子	日本近世・幕末維新期の政治文化と書籍史料研究
西村 慎太郎	日本近世身分の研究、民間所在資料の保存の研究
山本 和明	19世紀文学の研究
渡辺 浩一	日本近世都市の社会構造の研究、アーカイブズ史の研究
渡部 泰明(予定)	和歌史の研究

### 准教授

相田 満	日本中古文学・中世文学、特に学問・注釈学、説話文学の研究
青木 睦	史料保存に関する研究
青田 寿美	日本近代文学、特に明治大正期の評論・小説の研究
太田 尚宏	近世日本における地域行政の研究、日本近世史料学の研究
加藤 聖文	近代以降の東アジアと日本との関係の研究
木越 俊介	日本近世文学、特に小説史の研究
多田 蔵人(予定)	日本近代文学における「引用」の研究
ダヴァン ディディエ	日本仏教と日本文学
野本 忠司	日本文学研究における情報利用の高度化に関する研究
山本 嘉孝	江戸・明治期の日本漢文学、および日本漢文学に深く関係する諸芸・学術の文化史

### ※今後の定年退職予定教員

2023年3月末	青木 睦	准教授
2024年3月末	落合 博志	教授
2024年3月末	相田 満	准教授
2024年3月末	野本 忠司	准教授
2025年3月末	渡辺 浩一	教授